

器 26 医療用遠心ちんでん器(未滅菌)
一般医療機器 汎用検査室用遠心機 JMDN 36465000

CF6RN-P 形 小形冷却遠心機

安全にご使用いただくため、本遠心機取扱説明書記載の「安全にお取り扱いいただくために」を必ずお読みください。

【形状・構造および原理等】

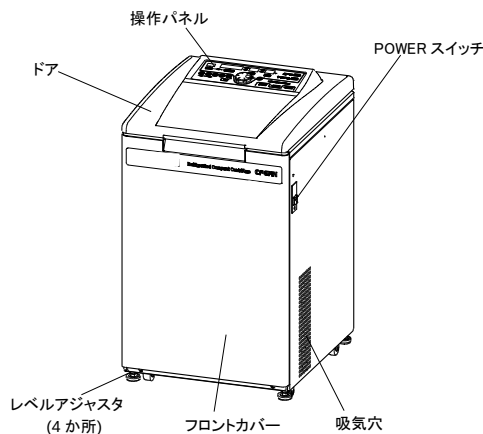


図1. 本体外観

寸法	490(W)X550(D)X852(H)mm
質量	105kg
電源	AC100V±10V 15A 50/60Hz

作動・動作原理: ロータ内部に試料を保持し、ロータをモータ駆動により回転させ、遠心力により分離を行う。

【使用目的又は効果】

使用目的: 遠心力を応用して懸濁液の成分を分離するために用いる。本装置は体液等の試料を単独か、又は分析物の測定前に試薬や他の添加物を添加した後に遠心分離することを目的とする。

【使用方法等】

1. 設置方法: 設置方法は取扱説明書「据付け」の項に従ってください。
2. 使用環境条件: 5℃以上 25℃以下の室内
3. 使用方法: 使用方法の詳細については、取扱説明書「運転方法」の項をご使用前によくお読みください。
＜通常運転＞の操作方法を以下に示します。

＜通常運転＞

手順	操作
1	POWER スイッチを「ON」にする。
2	ドアを開けて、ロータを回転軸にセットする。
3	ドアを閉める。
4	運転条件を設定する。
5	START ボタンを押す。
6	タイマーが「0」になるか、又は STOP ボタンを押す。
	ロータが停止する。

【使用方法に関する使用上の注意】

詳細については取扱説明書をご使用前によくお読みください。

- ・爆発性、引火性のある試料は使用しないこと。
- ・本体を接地せずに使用しないこと。
- ・回転中は本機の周囲 30cm 以内に立ち入らないこと。
- ・回転中は本体を動かしたり、移動しないこと。
- ・ロータ室内に落とした物やチューブの破片は必ず取り除いてから運転すること。
- ・ロータ、バケット、アダプタは使用前によく点検し、腐食したり傷やひびの入ったものは使用しないこと。
- ・サンプルはインバランスにならないようにロータにセットすること。
- ・スイングロータは、バケットが滑らかにスイングすることを確認すること。
- ・初めて使用する市販品のチューブは水などを入れ、使用する回転速度で予備試験を行うこと。
- ・本体の修理・分解は当社のサービス担当もしくは当社が認定した者以外は絶対に行わないこと。
- ・本体に異常が生じた場合は、本体の使用をただちに中止して販売店もしくは当社のサービス担当に連絡してください。

【保守・点検に係る事項】

保守・点検の詳細については取扱説明書「運転後のお手入れ」と「冷凍機熱交換器の掃除のしかた」、および「保守」の項を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社
茨城県ひたちなか市武田1060番地
029-276-7380

製造業者

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社
茨城県ひたちなか市武田1060番地
029-276-7380

取扱説明書を必ずご参照ください。

S99839404